

Urban Data Challenge
Tokyo 2013

資料5

3rdイベント 第2部 グループワークの進め方

※実行委員向けに作成しています
→参加者向けに編集して配布資料に

グループワークのテーマ

データチャレンジで提供される自治体等のデータを触りながら、地域の課題解決に向けたデータ活用について議論！

- まずはデータを触ってみましょう
- 課題解決に向けて必要な作業を想定し、一部実際に作業してみましょう
- 課題解決に向けたアイデアを出してみましょう
- 課題解決にあたり問題となること、あったらいいと考えられるデータ、より望ましいデータ形式など議論しましょう

スケジュール

時間	項目	内容
15:10-15:30 (20分間)	概要・進め方についての説明	•グループワークの内容、グループの分かれ方などを説明
15:30-16:00 (30分間)	アーバンデータチャレンジ 2013データ共有サイトおよび データセットの概要	•共有サイトの操作方法などを説明 •収集済みのデータセットの内容を説明
(グループ移動 5分)		コンベンションホールを出て別室に 移動
16:05-17:05 (60分間)	グループワーク	•課題分類ごとにグループ •データの編集、視覚化などの作業 •皆さまで、データの活用アイデア・ア ウトプットについての議論
(グループ移動 5分)		コンベンションホールに戻る ※ファシリテータ、記録係はディス カッション結果を取りまとめ、発表 ファイル準備
17:10-18:10 (60分間)	グループワークの結果共有	※発表ファイルを使って発表(集約 はせず、それぞれ持ち寄り)
18:10-18:30 (20分間)	今後の予定・閉会挨拶	

実行委員の役割分担

【全体】(敬称略)

(事前)

- モニター等の持寄り: 東大メンバー
(※今回各自PCを持参頂くこととしていますが、グループで議論する際には同じ画面も見れた方がいいかと考えています)
- 机イスモニター等の配置: 幹事メンバー
(※週明けには配置検討します)

(当日)

- 受付け: 山本、濱里、片柳
- 講演者への交通費等の支払い: 山本
- Ustream用撮影、配信: 東大メンバー

実行委員の役割分担

【グループワーク時】(敬称略)

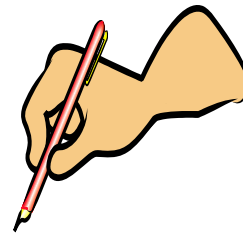
グループ(課題)	ファシリテータ	記録
人口問題	大伴	(募集中です!)
まちづくり	東	山本
インフラ	郡司	川島(M2M)
防犯	濱里	伊藤(IIJ)
防災	嘉山	片柳
交通	石井	高橋
農業	関	増田(長大)
教育	藤津	青島
観光	和田	樫山

グループワークにあたって

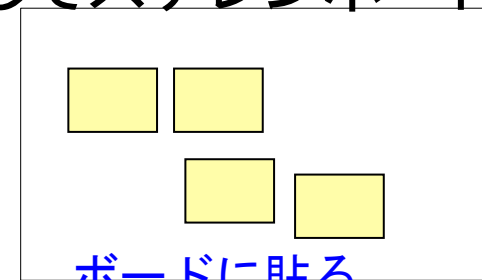
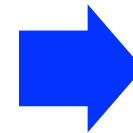
- 各グループには、実行委員がファシリテータ、記録係として入ります
議論を頂く時間が限られているため **自己紹介はご所属とお名前のみ簡単にする程度**としてください
※集まった方のお立場がわかりやすいよう名札の色を区分しています



- 議論を通じて出た課題やアイデアなどは記録係がグループワーク成果としてパワーポイントファイルに記録しますが、参加者の皆さまも必要に応じて付箋に記載してスチレンボードに貼っていただきます



付箋に記入する



ボードに貼る

グループワーク進行

■ 進行イメージ

- ファシリテーター、記録係は課題グループに固定
- 課題に関連するデータを実際にDL、操作するよう促します
- 課題解決のアイデア、あったらいいと考えられるデータ、より望ましいデータ形式など議論します
- 作業としては下記を想定します
 - データの可視化
 - 新たなデータセットの作成

■ 成果の取りまとめ

- グループで議論された成果をpptファイルにメモとしてまとめます
- データを可視化するところまで作業できた場合にはそれも成果として共有できるよう準備します

■ 成果の共有

- ホール前方のスクリーンに成果を表示して発表
- ファイルは集約しません、各グループ発表者が発表時に持参してください
- 発表頂くのはグループのどなたでも構いません
- 決まらないようでしたらファシリテーターの方が発表ください
- 記録係は、成果を公開時まで共通のフォームにまとめてください(フォームは当日までに伊藤より送付)

会場レイアウト

- ① 人口
- ② まちづくり
- ③ インフラ
- ④ 防犯
- ⑤ 防災
- ⑥ 交通
- ⑦ 農業
- ⑧ 教育
- ⑨ 観光

実行委員会後にレイアウト検討

- ・ 机、イス
- ・ モニターホワイトボード等
- ・ 電源

